

ワイヤレス見張隊

NEO

ネ オ

型番：L-WM-NEO

取扱説明書 詳細版



【お願い】

最近お客様より、類似品に関するお問い合わせをいただく事が増えております。

お問い合わせする前に、弊社の製品であることのご確認をお願いします。

弊社の製品「ワイヤレス見張隊 NEO」は、白色の筐体で、かつ弊社の LET'S ロゴマークがあります。

もし弊社の製品と異なる場合は、ご購入先に問い合わせてください。

目次

1. はじめに.....	3
1-1. 安全上の注意	4
1-2. 構成品一覧	8
1-3. 外観および各部名称	9
1-4. 接続構成図	10
2. 設置方法.....	11
2-1. 設置する際の注意事項	11
2-2. IPカメラの設置	12
2-3. カメラケーブルの防水方法	13
2-4. 録画装置の接続	14
3. 基本操作.....	15
3-1. 録画装置の初期設定（ウィザード）	15
3-2. ログイン操作	17
3-3. 画面左下側の△マークについて	18
3-4. スケジュール録画（時間録画、モーション録画）	19
3-5. 再生方法	21
3-6. 録画映像をバックアップする	22
3-7. 録画装置の電源を切る	23
4. メニューの説明.....	24
4-1. メニュー画面	24
4-2. 画面内のアイコンの説明	24
4-3. 映像の色彩を調整する	25
4-4. カメラ映像位置の入れ替え	25
4-5. PTZ操作	26
5. システム設定.....	27
5-1. 一般設定	27
5-2. 録画設定	29
5-3. ネットワーク設定	30
5-4. チャンネル設定	33
5-5. システム管理者	36
6. パソコンで映像を確認する.....	40
6-1. ネットワークの接続	40
6-2. Network video clientの起動方法.....	41
6-3. Network video clientの画面.....	43
7. IPカメラを追加する場合.....	44
8. トラブルシューティング.....	45
9. 仕様.....	47

1. はじめに

このたびは、ワイヤレス見張隊 NEO をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

この取扱説明書（以下、本書）は、ワイヤレス見張隊 NEO（以下、本装置）の設置方法、操作方法、および構成などを説明いたします。

本装置の特徴

- ・最大4台のワイヤレスカメラ（標準はカメラ2台）が設置できます
- ・カメラは無線接続のため、電源を接続のみで配線・設置が簡単です
- ・カメラは、フルハイビジョン画質で撮影します
- ・カメラは、水の浸入に対する保護等級 IP66 相当であり、屋外設置が可能です
- ・モニター付の録画装置であり、カメラ映像を録画・再生することができます
- ・録画装置は、スケジュール録画、モーション録画ができます
- ・H.265 形式（高圧縮）で保存されるため、カメラ2台で約20日間分録画できます
- ・USBの記録媒体に、録画データのバックアップができます
- ・ネットワーク接続をすることにより、パソコンから映像が確認できます

本書では、呼称を以下の通り定義いたします。

呼 称	意 味
カメラ	本装置に付属のワイヤレスネットワークカメラ全般を指します。
録画装置	ネットワークカメラ専用のモニター付レコーダーを指します。
HDD	本装置内に装着されている内蔵ハードディスクドライブを指します。
ライブ映像	カメラから入力され、モニターに映し出されている映像を指します。 (録画された映像ではありません。)
録画	映像を HDD に記録することを指します。
録画映像	HDD に録画されている映像を指します。
ビデオロス	映像信号が途切れたことを意味します。
モーション（動体）検知	映像に変化があった時（例：人が歩いている）に、それをトリガーとして、録画やアラームを鳴らすことができる機能を指します。

- ・本装置のご使用にあたって必要とされる一般的なパソコンの操作につきましては、本書では記載しておりません。あらかじめご注意ください。
- ・本書の図や画面は、説明を目的とするため、実際の表示と多少異なる場合があります。ご了承ください。
- ・本装置のファームウェアのバージョンの違いにより、本書で説明する画面と若干異なる場合があります。ご了承ください。

1-1. 安全上の注意



本装置を操作する前に本書をよくお読みください。本装置は精密機器であり慎重な取り扱いが必要です。カメラを設置する際、設置する地域の条例やガイドラインに従って設置してください。設置箇所により、許可・届出等が必要な場合があります。

●安全に正しくお使いいただくために

本書および本装置の表示では、製品を安全にお使いいただき、ご使用になる方や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の用になっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。




■表示の説明

誤った取り扱いをしたときに生じる危害、障害の程度を区分し説明します。






	警告	この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容を示しています。
	注意	この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「損傷を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。
	お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できない、または、機能停止をまねく内容を示しています。








■図記号の説明

お守りいただく内容の種類を絵記号で区分し説明しています。

	○記号は、してはいけないこと「禁止」を示します。
	●記号は、しなければならないこと「指示」を示します。
	△記号は、注意を促す内容を示します

■設置場所について





	警告
	●不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁への設置禁止 カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。
	●壁面内の配線や配管（ガス管・水道管等）に注意 ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。
	●湿度の高い場所への設置禁止 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●本装置は日本国内で使用する 本装置は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因となります。 また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。

	注意
	●モルタル塗装部への設置 穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。
	●火気のそばへの設置禁止 本装置や電源ケーブルを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。 カバーや電源ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。
	●直射日光、高温の場所への設置禁止 直射日光の当たるところや、高温のところに置かないでください。 内部の温度が上がり、火災・故障の原因になることがあります。
	●油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止 調理台のそば等油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電となることがあります。
	●不安定な場所への設置禁止 ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。
	●重電機器・電磁波を発生する機器の近くへの設置禁止 業務用洗濯機、工作機械、電動機などの重電機器、電磁波の発生する機器の近くに設置しないでください。また、上記と同じ電源元から電源を供給しないでください。ノイズの影響を受けて異常が発生するおそれがあります。







お願い	●本装置を正常にまた安全に使用していただくために、次のようなところへの設置は避けてください。 ・ほこりが多い場所 ・極度に振動が激しい場所 ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所 ・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所 ・極度に高温や低温になる場所 ●家電機器 (AV 機器/調理機器/空調機器など) から離して設置してください。 特にテレビ等のリモコンを本装置に近くで操作すると、誤動作するおそれがあります。 ●電波の到達距離について 録画装置からカメラの間に障害物がない場合は、見通し距離約 50m 以内で使用できますが、次のような場合は、電波が届きにくくなります。 ・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合 ・カメラと録画装置が別の階層や別の建物にある場合 ・カメラと録画装置の間に次のような障害物がある場合 (外壁、金属製の扉や雨戸、トタンなどの金属製の外壁材、金属箔が含まれる断熱材、金属製の家具など ●カメラは電波干渉による影響を防止するため、次の機器から離して使用してください ・電子レンジ・無線 LAN 機器・ワイヤレス AV 機器・インバーター電気機器 その他、下記の機器でも近くで使用すると本機やその機器の動作に影響がでる場合があります。離して使用してください。 ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー・デジタルコードレス電話機・火災報知機・アマチュア無線局 ・自動ドア・マイクロ波治療器・Bluetooth [®] 対応機器・ワイヤレスインターホンやワイヤレスドアホン
------------	---




■使用について

(1) こんなときは




	警告
	●発煙への対処 万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
	●水が装置内部に入った場合の対処 万一、内部に水が入った場合は、すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いて、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	●電源アダプタ、電源コードが傷んだ場合の対処 電源アダプタ、電源コードが傷んだ状態 (芯線の露出・断線等) のまま使用すると、火災・感電となります。すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いてご購入店か弊社に修理をご依頼ください。

(2) 電源について





 警告	
	●家庭用電源以外の禁止 AC100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●電源アダプタ・電源コード 専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	●電源アダプタ・電源コードの取扱注意 電源アダプタ・電源コードを傷つけたり、分解したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると損傷し、火災・感電の原因となります。
	●ぬれた手で操作禁止 ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	●たこ足配線の禁止 分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

 注意	
	●電源コードの取扱注意 電源コードを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。コード部を引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	●乗ることの禁止 本装置に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかたりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。

(3) 禁止事項について

 警告	
	●改造の禁止 本装置を分解・改造しないでください。 火災・感電の原因となります。
	●ぬらすことの禁止 本装置に水が入ったり、ぬらさぬようご注意ください。 火災・感電の原因となります。

(4) その他のご注意

 注意	
	●雷のときの注意 雷が激しいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。万一落雷があった場合、火災・感電の原因となることがあります。雷が発生した際は、感電のおそれがあるので、電源アダプタ、電源コードおよびLAN ケーブルに触れないようにしてください。
	●電源ケーブルの清掃 コンセントとソケットの間のほこりは定期的に（半年に1回程度）に取り除いてください。放置しておくと、火災・感電の原因となることがあります。
	●長期間ご使用にならないときの注意 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

●著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権者及び著作権者の権利が保護されています。このした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的のみで行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」、「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本装置を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守の上、適切にご使用をこころがけていただきますようお願いいたします。

●プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、お客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

●セキュリティーについて

本装置をネットワークに接続する場合、パスワードを設定することを強く推奨します。パスワードを設定・変更した際、設定したパスワードは忘れないようにメモをしてください。パスワードを設定しないと、映像が外部に流出するおそれがあります。

●内蔵ハードディスクを交換した場合

お客様が内蔵ハードディスクの交換を行った時点から、納品日からの1年間の無償保証対象外となりますので予めご了承ください。

●免責事項について

- ・本製品は、犯罪抑止等を意図して製作された商品ですが、犯罪の防止・安全を完全に保証するものではありません。万一被害など発生致しましても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・地震・雷・風水害などの天災および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・「取扱説明書」（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、一切責任を負いません。
- ・本書に記載されている付属品以外の機器の接続やソフトウェアの使用により、誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・事故や本装置の故障・修理・その他取り扱いによって、本装置に登録された設定データなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●商標について

- ・Ethernet およびイーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・Google Chrome は、Google Inc. の登録商標です。
- ・Microsoft、Windows、Windows Media Player、Microsoft Edge、Internet Explorer またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・本書に記載されているその他の製品名、会社名は、各社の登録商標、または商標です。

●ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

1-2. 構成品一覧

ご使用いただく前に、次の構成品が全部そろっているか確認してください。

万一、足りない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

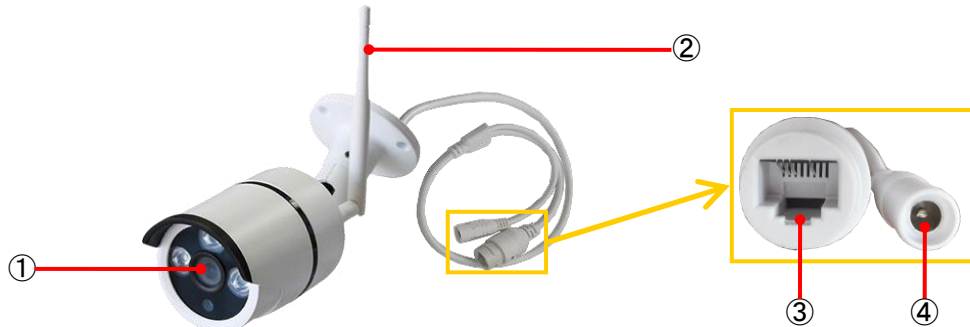
 <p>IP カメラ×2 (アンテナを含む)</p>	 <p>ネジ・アンカープラグ ・六角レンチ×2</p>	 <p>カメラ用電源アダプタ×2</p>
 <p>カメラ用電源アダプタ×2</p>	 <p>モニター付レコーダー (録画装置)×1</p>	 <p>録画装置用 電源アダプタ×1</p>
 <p>録画装置用 電源アダプタ×1</p>	 <p>取扱説明書×1</p>	

◆ネットワークに接続する場合、さらに以下の構成品も準備してください。

- ・スイッチングハブ
- ・パソコン
- ・パソコンへの接続する LAN ケーブル
- ・インターネット接続環境など

1-3. 外観および各部名称

1-3-1. カメラ



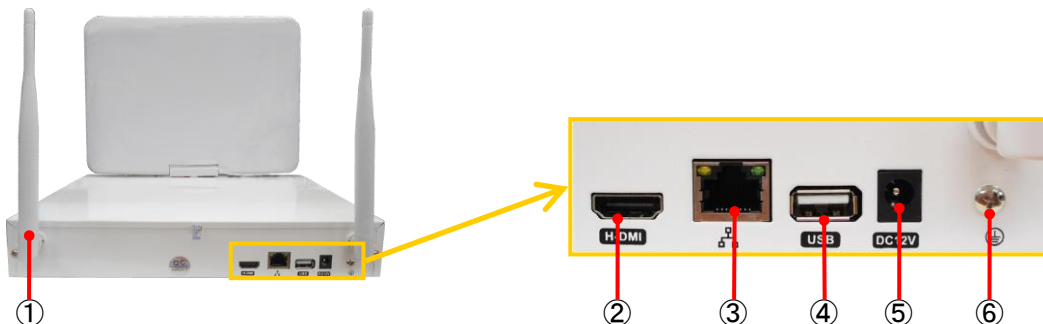
①	カメラレンズ	被写体を撮影します。
②	アンテナ	映像データを録画装置へ伝送します。
③	LAN 端子	録画装置にカメラを追加する場合、LAN ケーブルで録画装置と接続して設定します。
④	電源端子	電源アダプタを接続します。

1-3-2. 録画装置【表側】



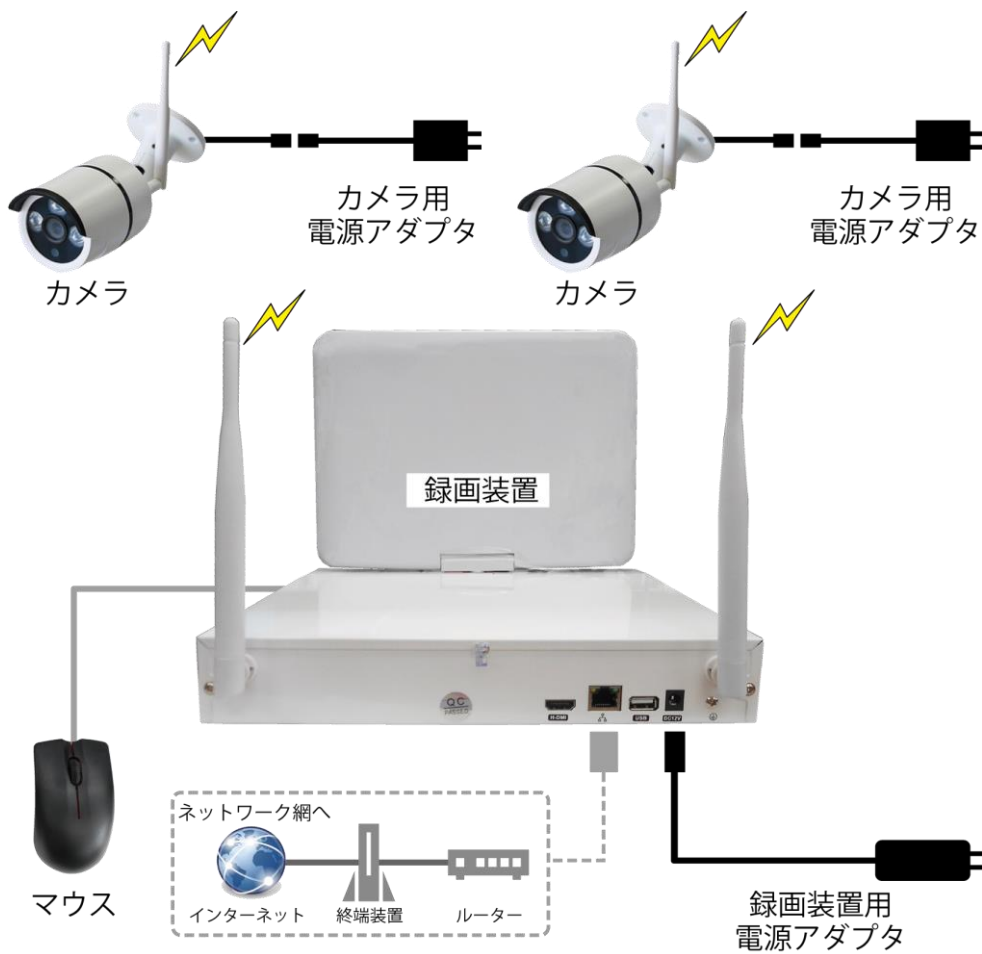
①	モニター	映像を表示します。
②	モニター電源ボタン	モニター画面の表示を ON/OFF します。
③	USB 端子	マウスを接続します。またはバックアップ時に USB メモリを接続します。

1-3-3. 録画装置【裏側】



①	アンテナ	カメラの映像データを受信します。
②	HDMI 端子	モニターの映像を出力します。
③	LAN 端子	ネットワークに接続する場合、LAN ケーブルを接続します。
④	USB 端子	バックアップ時に USB メモリを接続します。またはマウスを接続します。
⑤	電源端子	電源アダプタを接続します。
⑥	接地端子	接地端子です。

1-4. 接続構成図



● 録画装置モニター部の角度調節について

【閉じた状態】



【開いた状態】



モニターを持ち上げ、ひねることでモニターを回転できます。
上記、【開いた状態】で右方向にひねると90度まで、左方向にひねると180度モニターを回転できます。

2. 設置方法

録画装置とカメラを設置する方法を説明します。








カメラは水の浸入に対する保護等級 IP66 相当(あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がない)の仕様を有しており、風雨にさらされても問題はありません。

長く大切にご使用いただくために、雨や日差しを避けた設置環境(軒下など)をお勧めします。





2-1. 設置する際の注意事項

下記の注意事項をよくお読みください。

警告

-  不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けしないでください。カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。
-  壁面内の配線や配管(ガス管・水道管等)を傷つけないように取り付けてください。ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。
-  AC100V 商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
-  専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  本装置は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因となります。
また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。
-  万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
-  録画装置・カメラを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注意

-  壁の穴開け工事については、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
-  モルタル塗装の場合、穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。
-  録画装置を不安定な場所に置かないでください。また、録画装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けが・故障の原因となります。
-  録画装置・カメラを次のようなところへの設置は避けてください。
 - ・火気のそば
 - ・油飛びや湯気が当たるような場所
 - ・不安定な場所
 - ・ほこりが多い場所
 - ・極度に振動が激しい場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
 - ・極度に高温や低温になる場所
 - ・直射日光が当たるところ
 - ・重電機器、医療機器、電磁波の発生する機器の近く

正しく設置するために

- ・カメラを正しく設置するために、ネジの取り付け位置をあらかじめご確認ください。
- ・録画装置からカメラの間に障害物がない場合は、見通し距離約 50m 以内で使用できますが、次のような場所では、電波が届きにくくなります。
 - ・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合
 - ・カメラと録画装置が別の階層や別の建物にある場合
 - ・カメラと録画装置の間に次のような障害物がある場合
(外壁、金属製の扉や雨戸、トタンなどの金属製の外壁材、金属箔が含まれる断熱材、金属製の家具)

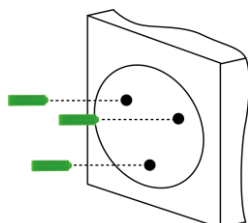
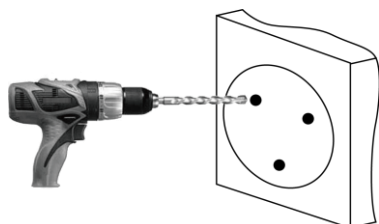
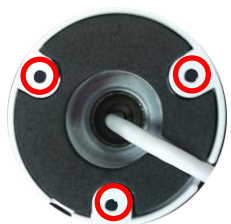
カメラは電波干渉による影響を防止するため、次のように機器から離して使用してください。

- ・電子レンジ ・無線 LAN 機器 ・ワイヤレス AV 機器 ・インバーター電気機器
その他、下記の機器でも近くで使用すると、本機やその機器の動作に影響がでる場合があります。離して使用してください。
- ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー ・デジタルコードレス電話機 ・火災報知機 ・アマチュア無線局
- ・自動ドア ・マイクロ波治療器 ・Bluetooth®対応機器 ・ワイヤレスインターホンやワイヤレスドアホン

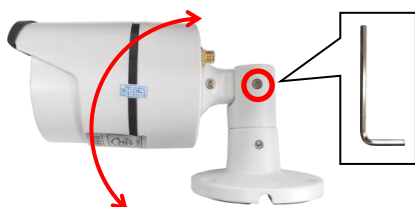
2-2. IPカメラの設置

IPカメラを壁に取り付ける場合を例に説明します。録画装置の映像を確認しながら設置してください。

ご注意:カメラの向きを変える場合(手順⑤⑦⑧)、設置場所によってはアンテナに干渉する箇所が有り、取り付けできない向きがあります。ご了承ください。



ガイドの溝



1. カメラのネジ穴位置を確認してから、壁に取り付ける場所を決めます。
2. 壁に穴を開けます。
φ6~6.5mmのドリルビットを使用し、深さ30mmのガイド穴を開けます。
3. ガイド穴に、アンカープラグを押し込んで入れます。
4. ケーブルをガイドの溝からケーブルを出します。
5. 左記の箇所を、六角レンチで緩めることにより、カメラの取り付け向きを調整できます。
6. ベースのガイド穴を通し、ドライバーでネジを締めて壁に密着させます。
7. 左記の箇所を、付属の六角レンチで緩めることにより、カメラの向きを変えることができます。



8. 左記の箇所を緩めることにより、カメラ映像の角度を調整することができます。



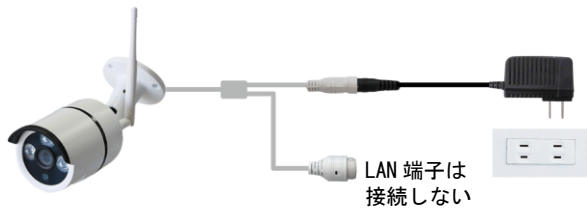
9. カメラの向きを決めてから、六角レンチで固定します。



10. アンテナを取り付けます。



11. 必要に応じて、アンテナの角度を変えます。



12. カメラの電源端子に、カメラ用電源アダプタを接続します。
LAN 端子は、接続しません。

2-3. カメラケーブルの防水方法

ケーブルの端子を水滴から防ぐため、防水処理する方法を説明します。

防水プルボックス等に収納する場合は不要です。



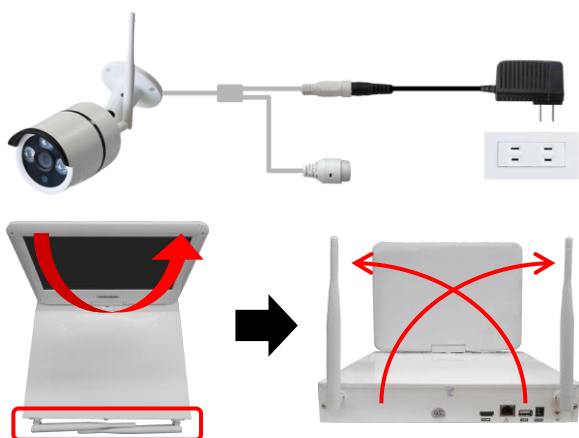
1. カメラと電源アダプタの接続部は、市販の自己融着テープ等を巻いて防水します。



2. カメラ側の LAN 端子は、通常は使用しないため、端子部が濡れないように市販の自己融着テープ等を巻いて防水します。

2-4. 録画装置の接続

カメラと録画装置を接続します。またネットワークに接続することも可能です。
ネットワークの接続機器等は、お客様側でご用意ください。



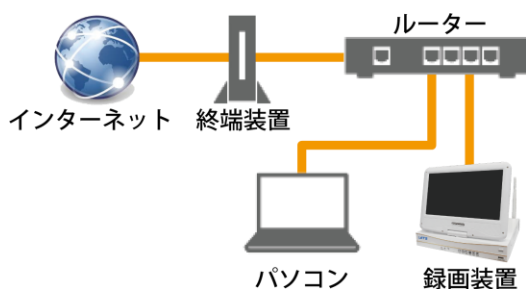
1. カメラを設置し、電源を接続します。
2. 録画装置のモニターとアンテナを起し、向きを変えます。



3. 録画装置にマウスを接続します。



4. 【ネットワークに接続する場合】
録画装置の WAN 端子に LAN ケーブルを接続し、
ネットワークに接続します。



5. 【ネットワークに接続する場合】
ネットワークに接続するパソコンをネットワー
ク環境に接続します。



6. 録画装置の電源アダプタを接続します。
録画装置の電源が入ります。



7. モニター電源ボタンを押すと、モニター画面の
ON/OFF ができます。

3. 基本操作

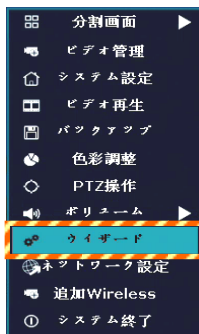
初期設定、録画と再生する方法を説明します。

3-1. 録画装置の初期設定（ウィザード）

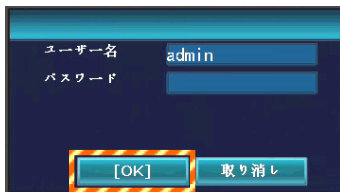
はじめて録画装置の起動したとき、初期設定を行います。



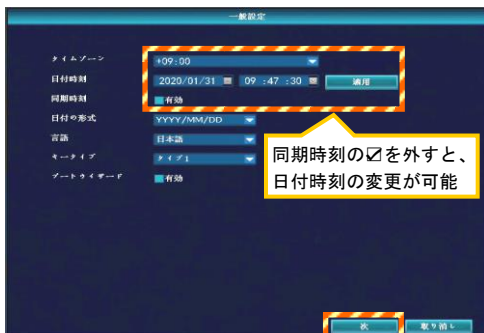
1. ライブ映像画面で、マウスを右クリックします。
メニューが表示されます。



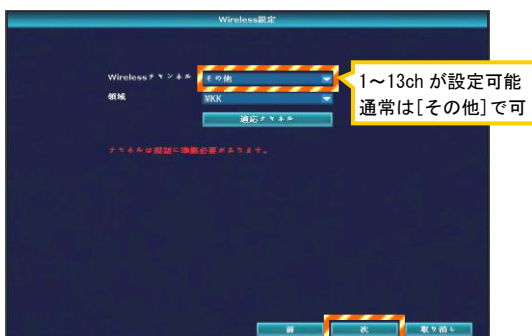
2. [ウィザード]をクリックします。
ログイン画面が表示されます。



3. 初期状態の場合、ユーザー名は[admin]のままで、パスワードは何も入力せずに、[OK]をクリックします。

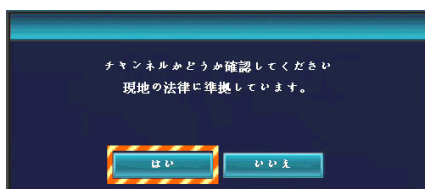


4. タイムゾーンを「+09:00」に合わせ、同期時刻の☑を外してから日付時刻を合わせて、[適用]をクリックします。時刻を設定後、[次]をクリックします。



5. Wireless 設定画面が表示されます。
チャンネルを選択し、[次]をクリックします。

この設定は、後で設定することができます。
詳細は「5-3-4. Wireless 設定」を参照。



6. 確認画面が表示されます。
[はい]をクリックします。
ネットワーク設定画面が表示されます。



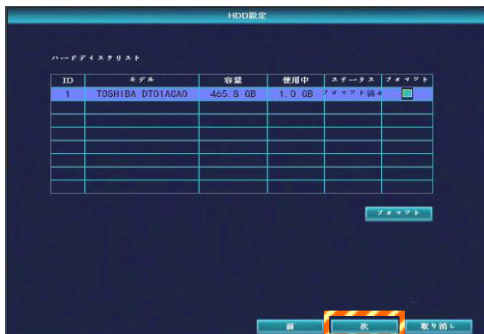
7. 【ネットワークに接続する場合】
[手動構成]をクリックします。
【ネットワークに接続しない場合】
[次]をクリックします。(手順 10 へ)



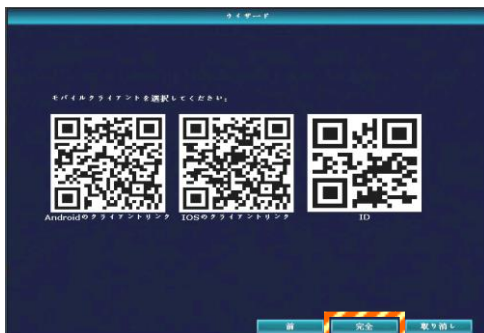
8. 【ネットワークに接続する場合】
IP アドレス、ゲートウェイ、サブネット等を設定し、[OK]をクリックします。



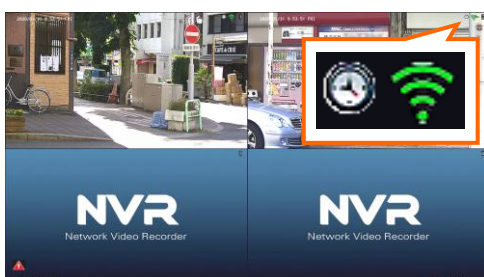
9. 【ネットワークに接続する場合】
設定が正しくできているか、ネットワークの状態を確認してから、[次]をクリックします。
(設定は、後からでも変更可能です。)



10. HDD の情報が表示されていることを確認し、
[次]をクリックします。



11. [完全]をクリックします。
2次元コードは使用しません。



12. 初期設定を終え、ライブ映像が表示されます。
画面右上側に、📶 (カメラの受信感度) アイコンと、🕒 (スケジュール録画) アイコンが表示されていると録画しています。

3-2. ログイン操作

録画装置のメニューを操作するときには、ログイン操作が必要です。



1. ライブ映像画面で、マウスを右クリックします。
メニューが表示されます。

2. ログイン操作をしていない場合、メニューのいずれかの項目を選択すると、ログイン画面が表示されます。



3. ユーザーとパスワードを入力して、[OK]をクリックします。

※初期状態のユーザー名は「admin」、パスワードは入力せずに[OK]をクリックします。



4. 入力欄をクリックすると、キーボードが表示され、キーボードから文字を入力します。

3-3. 画面左下側の△マークについて

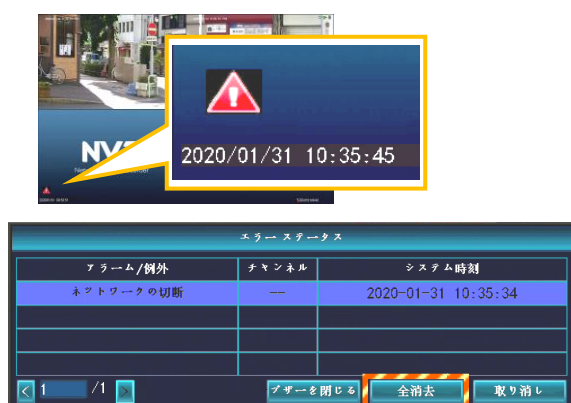
画面左下側に、△アイコンが表示されると、エラー等があることを示します。
ネットワークに接続しない場合でも表示されます。

● エラー表示を非表示にする設定【エラー表示の設定】



1. ライブ映像画面で右クリックしてメニューを表示させ、[システム設定]をクリックします。
設定画面が表示されます。
2. [一般設定]タブをクリックし、
[セットアップエラー]をクリックします。
3. 有効の☑を外し、[OK]をクリックします。
4. [取り]

● エラー内容の確認【△アイコンの削除方法】



1. △マークをクリックします。
エラーステータス画面が表示されます。
2. エラーステータス画面には、エラー内容が表示されます。
3. エラーを確認後、[全消去]をクリックします。
4. 右クリックして画面を閉じます。
△マークの表示が消えます。

3-4. スケジュール録画（時間録画、モーション録画）

録画したい時間帯を自動で録画する、スケジュール録画の設定方法を説明します。

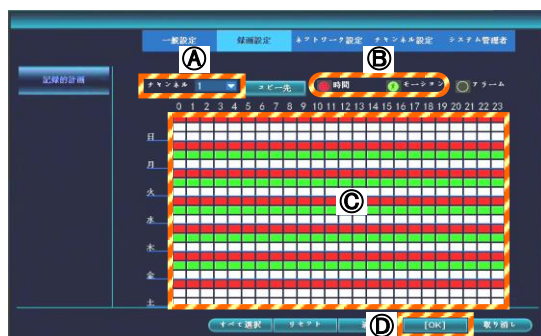
メモ：出荷時は、全時間帯が選択された「時間録画」が設定されています。



1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[システム設定]をクリックします。設定画面が表示されます。



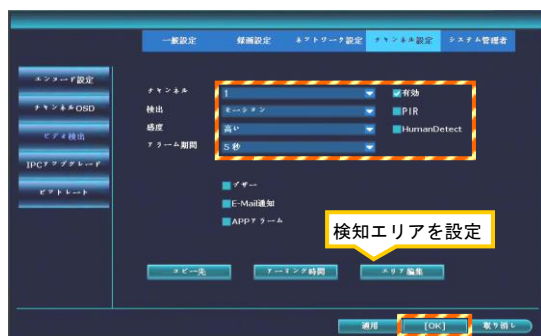
2. [録画設定]タブをクリックし、[記録的録画]をクリックします。時間録画、モーション録画を設定する画面が表示されます。



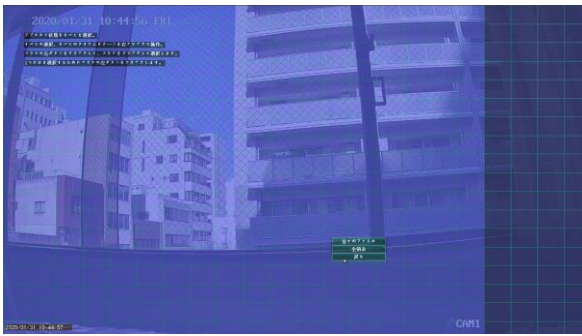
3. チャンネルを選択①、録画モード②(時間またはモーション)をクリック後、録画する時間帯をマウス操作で選択③し、[OK]④をクリックします。
 - ・時間(赤)：指定の時間帯を自動で録画します。
 - ・モーション(緑)：指定の時間帯に画面に動きを検知した場合に自動で録画します。
 - ・[すべて選択]：全時間帯に対し適用
 - ・[リセット]：全時間帯の設定を削除



4. モーション録画※を行う場合、[チャンネル設定]タブと[ビデオ検出]をクリックし、検出画面を表示させます。



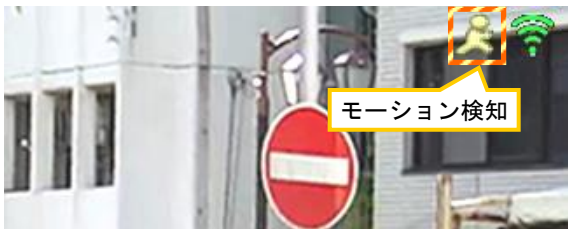
5. 検知するチャンネルを選択後、[モーション]を選択し、有効に☑をします。次に、感度、検知エリア、アラーム期間、及び検知時の動作(ブザー)を設定後、エリア編集(手順6参照)を指定してから、[適用]をクリックします。
(詳細は「5-4-3. ビデオ検出」を参照)



6. [エリア編集]をクリックすると、モーション検知するエリア（画面）を選択します。
 - ・青色エリア：検知する
 - ・黒色エリア：検知しない
 - ・[全てのファイル]全エリアを検知する
 - ・[全消去] 全エリアを検知しない
 - ・[戻る] 編集画面を終了する



7. スケジュール録画されている場合、画面右上側に 🕒 アイコンが表示されます。



8. モーション機能を有効にし、かつ検知した場合、画面右上側に 🧑 アイコンが表示されます。

※モーション録画とは、映像データ（被写体）の変化を検知した時に録画する機能です。

人または車両が動くと、映像データが変化するため、モーション検知したと判定します。

この動作は、樹木の揺れ、光、影の変化でも検知する場合があります。この場合、感度を調整します。

この機能を利用して録画すると、連続録画より保存容量を節約することが可能です。

3-5. 再生方法

録画した映像を再生する方法を説明します。録画中でも再生することができます。



1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[ビデオ再生]をクリックします。ビデオ再生画面が表示されます。



2. 画面右側のカレンダーから、再生したい日付を選択します。緑色の日付が録画されている日です。
3. 再生するチャンネル番号に✓を入れます。



4. 録画したモード(時間、モーション)に✓を入れ、再生する時間帯を指定し、[検索]をクリックします。

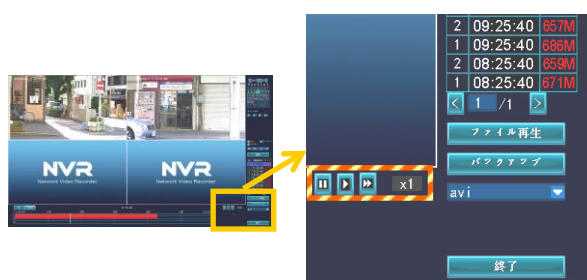


5. 選択対象の録画ファイルが表示されます。再生するファイルをクリックし、[ファイル再生]をクリックすると、再生を開始します。

メモ：ファイル選択後、[バックアップ]をクリックすると、バックアップ（次ページ参照）ができます。



6. または、下側のバーで開始時間をクリックし、[▶]をクリックして再生します。



7. 再生[▶]、一時停止[||]、早送り[▶▶]等の操作を行うことができます。
8. 再生操作を終える場合、右下側の[終了]をクリックします。

3-6. 録画映像をバックアップする

録画されている映像を、USB 記録媒体 (USB メモリ) にバックアップ (コピー) します。

録画中でもバックアップすることができます。

メモ : USB 記録媒体は、あらかじめパソコンで FAT32 形式のフォーマットをしてください。バックアップしたファイル (AVI) は、H. 264/H. 265 コーデックに対応した動画再生ソフトで再生可能です。



1. USB 端子に、USB 記録媒体を接続します。



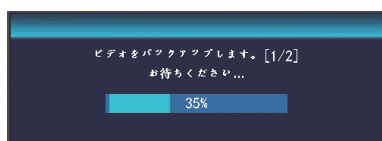
2. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[バックアップ]をクリックします。バックアップが表示されます。



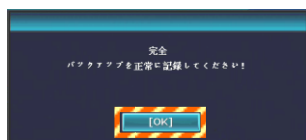
3. バックアップするチャンネル、録画モード、日付時刻を選択し、[検索]をクリックします。下側に録画ファイルが表示されます。



4. バックアップするファイルの右側に✓をつけて選択し、[バックアップ]をクリックします。
※バックアップ可能なデータは、最大 32GB です。
また、バックアップデータは、最大 1 時間で 1 ファイル生成されます。



5. バックアップが開始されます。しばらくお待ちください。



6. 「完全 バックアップを正常に記録してください!」と表示されたら、[OK]をクリックし、USB 記録媒体を抜き取ります。

3-7. 録画装置の電源を切る

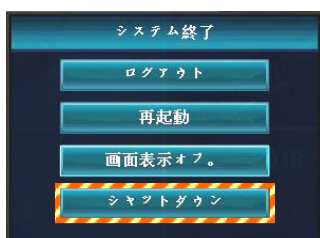
録画装置の使用を終え、電源を切る方法を説明します。

録画装置を長期間使用しない場合は、電源を切断してください。

ご注意：以下の手順を踏まえずに電源アダプタを抜くと、録画データ等が消失するおそれがあります。



1. ライブ映像画面で右クリックして、メニューを表示させ、[システム終了]をクリックします。



2. [シャットダウン]をクリックします。
確認画面が表示後、[はい]をクリックするとシャットダウンします。



3. 「電源オフにしてください。」と表示されたら、電源アダプタ（または電源プラグ）を抜きます。













4. メニューの説明

録画装置のメニューについて説明します。

ライブ映像画面でマウスを右クリックすると、メニューが表示されます。

メニュー操作するには、ログイン操作 (P.17) が必要です。

4-1. メニュー画面





 分割画面 ▶	… 表示画面数(1画面または4分割画面)を設定します	
 ビデオ管理	… 本装置で録画するカメラを登録します(通常は使用しません)	
 システム設定	… 録画装置の詳細設定を行います	P. 27
 ビデオ再生	… 再生を行います	P. 21
 バックアップ	… バックアップを行います	P. 22
 色彩調整	… 映像の色相・明るさ・彩度・コントラストの設定を行います	P. 25
 PTZ操作	… PTZ操作を行います(オプションのPTZ対応カメラのみ)	P. 26
 ボリューム ▶	… 本装置では使用しません。(音量を調整します)	
 ウィザード	… 初期設定を行います	P. 15
 ネットワーク設定	… ネットワークの設定を行います(3-1. 手順8を参照)	P. 16
 追加Wireless	… IPカメラを追加する場合に設定します	P. 44
 システム終了	… ログアウト、再起動、電源オフをします	P. 23

4-2. 画面内のアイコンの説明



画面をクリックして選択すると、アイコンが表示されます。

アイコンの機能について説明します。

	使用しません。(音声出力のON/OFFをします。)
	全画面表示にします。この操作で全画面表示時、右クリックすると元の画面に戻ります。
	映像の色彩を調整します。
	カメラのPTZ操作を行います。(オプションのPTZカメラを装着した場合のみ操作可能です。)


4-3. 映像の色彩を調整する



1. 画面をクリックして選択します。
選択画面は、黄色の枠が表示されます。
2. 右クリックして、メニューを表示させ、
[色彩調整]をクリックします。



または、手順1の操作をすると、画面内にアイコン一覧が表示されます。

 アイコンをクリックします。



3. 画面右下側に、色彩調整画面が表示されます。
色相、明るさ、彩度、コントラスト、シャープネス等を調整します。
[OK]をクリックすると、反映されます。

4-4. カメラ映像位置の入れ替え



カメラの映像表示位置を替える場合、
該当画面を選択後、表示したい位置にドラッグすると
位置を変更できます。



4-5. PTZ操作

オプションのPTZ対応カメラを設置した場合、PTZ操作をしてカメラを調整することができます。

PTZとは、パン・チルト・ズームを意味します。

パンとは、カメラの向きを左右に動かすことです。

チルトは、カメラの向きを上下に動かすことです。

ズームは、望遠(ズームイン)または広角(ズームアウト)にすることです。


メモ：本装置の標準構成品には、PTZカメラは同梱されていません。

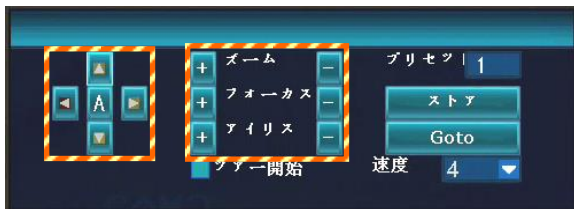


1. 操作する画面をクリックして、選択します。
選択画面は、黄色の枠が表示されます。
2. 右クリックして、メニューを表示させ、[PTZ 操作] をクリックします。



または、手順1の操作後、画面内をクリックすると、画面内にアイコン一覧が表示されます。

 アイコンをクリックします。



3. PTZ 操作画面が表示されます。
▲▼◀▶をクリックして、上下左右を調整します。
[+][−]をクリックして、ズーム、フォーカス、アイリスを調整します。
[A]をクリックすると、オートフォーカスの切り替えを行います。



5. システム設定

本装置のシステム設定を行います。

ライブ映像画面でマウスを右クリックすると、メニューが表示され、**システム設定** をクリックします。このときログイン画面が表示された場合、ログイン操作 (P.17) をします。

設定後、画面下側の **適用** をクリックして、設定を保存します。設定画面は閉じません。

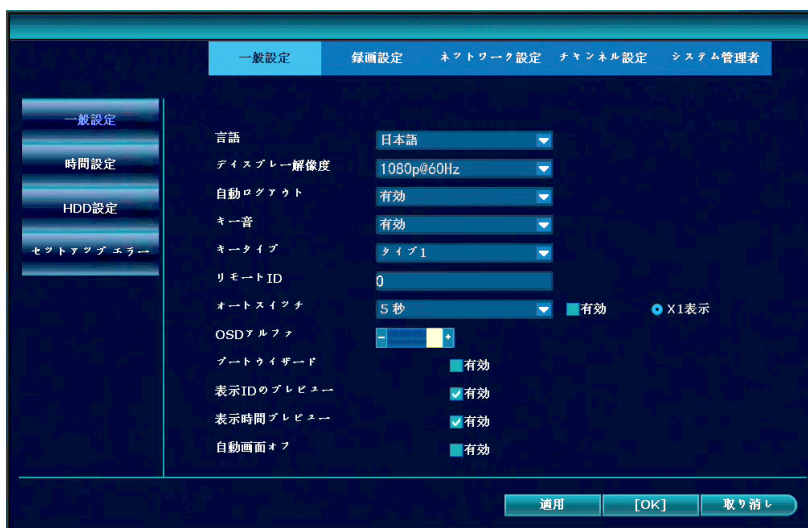
設定後、画面下側の **[OK]** をクリックすると、設定を保存し、設定画面を閉じます。

システム設定を終える場合は、画面下側の **取り消し** をクリックして、画面を閉じます。

5-1. 一般設定

5-1-1. 一般設定

表示言語、ディスプレイ(モニター)の解像度、自動でログアウトする設定等の変更ができます。ディスプレイ解像度を変更すると、録画装置は再起動します。



5-1-2. 時間設定

録画装置の日付・時刻の調整、および表示形式を設定します。タイムゾーンは+09:00 にします。[適用]をクリックすると、時刻が調整されます。

ネットワークに接続した場合、[アドバンスド]をクリックして、タイムサーバーを設定すると、ネットワーク経由で時刻を同期して時刻を自動で補正することができます。

ご注意：時刻は定期的を確認してください。必要に応じて時刻を調整してください。

同期時刻に☑が入っていると、時刻が手動で調整できません。☑を外してください。



5-1-3. HDD設定

HDDの状態を確認、上書き保存の設定、及びHDDのフォーマットを行います。

上書きに✓を入れると、HDDの空き容量がなくなると、自動的に古いファイル削除して上書き保存されるため、HDDを使用し続けられます。

また、HDDをフォーマットすることで、録画されているすべての映像を削除することができます。

ただし、一部の映像を指定して削除することはできません。

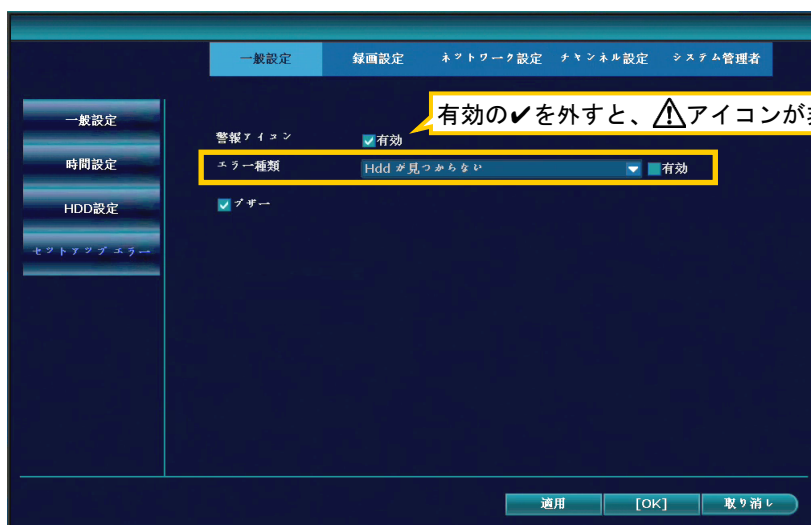


HDDをフォーマットする方法：

1. ID 1 枠のフォーマット欄に、✓を入れてから、表の下側の[フォーマット]をクリックします。
2. 「すべてのデータが削除されます。続行してもよろしいですか?」と表示されます。
3. [はい]をクリックすると、フォーマットを開始します。
4. フォーマット終了後、フォーマット欄の✓を外して、[OK]をクリックします。

5-1-4. セットアップエラー

エラーが発生した場合、画面に⚠アイコンが表示、またはブザーを鳴らして通知する設定を行います。



エラー通知の設定方法：

1. 通知するエラー種類を、ドロップダウンリストで選択し、有効に✓を入れます。
2. ブザーを鳴らす場合、✓を入れます。
3. 他のエラーも設定する場合、手順1、2を繰り返します。
4. 設定後、[OK]をクリックします。

5-2. 録画設定

指定のチャンネルで指定の時間帯を自動で録画する設定を行います。(出荷時は全チャンネル終日録画)



以下の手順で、設定します。

1. チャンネル番号①を選択します。
2. 設定する録画モード② (時間・モーション) を選択します。
3. 録画する時間帯③を、マウスのドラッグ操作で選択します。
4. 手順1に戻り、他のチャンネル番号の録画スケジュールを設定します。
または、[コピー先]④をクリックして、スケジュールの設定をコピーすることもできます。
5. 設定後、[適用]または[OK]⑤をクリックして、設定を確定します。

- ・チャンネル： 設定するチャンネル番号を選択
- ・時間(赤丸)： 指定の時間帯を自動で録画します。
- ・モーション(緑丸)： 指定の時間帯に画面に動きを検知した場合に自動で録画します。
(「5-4-3. ビデオ検出」の設定も併せて行います。)
- ・アラーム(黄丸)： 本装置では使用しません。
- ・[すべて選択]： 全時間帯に対し適用する場合にクリックします。
- ・[リセット]： 全時間帯の設定を削除する場合にクリックします。
- ・[コピー先]： 他のチャンネル番号も同じ設定をする場合にクリックします。



- ・[適用]： 設定を確定します。画面は閉じません。
- ・[OK]： 設定を確定して、画面を閉じます。

5-3. ネットワーク設定

5-3-1. ネットワーク設定

ネットワーク接続するための設定を行います。

ご注意：ネットワークの設定を変更する場合、必ずネットワーク管理者に確認してください。

正しく設定を行わないと、録画装置にアクセスできなくなるだけでなく、他のネットワーク機器が使用できなくなる恐れがあります。

The screenshot shows the 'Network Settings' page. The left sidebar has 'ネットワーク設定' selected. The main area is titled 'DHCP' and contains the following fields:

IP アドレス	192.168.200.241	QRコード表示
サブネット	255.255.255.0	
ゲートウェイ	192.168.200.1	
MAC アドレス	9CA3-AA45-2B56	
優先DNS	192.168.200.1	
Webポート	80	
MTU	1400	
ネットワーク帯域幅	100 Mb/s	
ネットワーク状態	健康ネットワーク	

At the bottom, there is a 'ネットワークの診断を開始する' link and buttons for '適用', '[OK]', and '取り消し'.

5-3-2. DDNS

DDNS（ダイナミックドメインネームシステム）を使用する場合、設定を行います。

ご注意：本装置はDDNS設定機能を保有していますが、接続および安全性の保障は致しません。

The screenshot shows the 'DDNS' settings page. The left sidebar has 'DDNS' selected. The main area contains the following fields:

DDNS機能	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
プロバイダ	Dyndns
URL	test.dyndns.org
ユーザー名	test
パスワード	****

At the bottom, there is a 'テスト' button and buttons for 'リセット', '適用', '[OK]', and '取り消し'.

5-3-3. E-Mail

アラーム発生時に、Eメールでメッセージを送信するための設定を行います。

ご注意：メールサーバーまたはセキュリティの環境により、使用できない場合があります。

Eメールの設定方法：

1. 有効に✓を入れます。
2. SMTPプロバイダを選択します。
3. その他のパラメータに☑を入れます。詳細な設定が表示されます。
4. 送信者のアドレス、パスワードを入力します。
5. SMTPサーバーを入力します。
6. ポート番号を入力します。
7. 暗号化の種類を選択します。適用しない場合は[None]を選択します。
8. 受信者のアドレスを入力します。
9. Eメールのタイトル名、送信するインターバル等を設定します。
10. [テスト]をクリックすると、送信テストができます。
11. 設定後、[OK]をクリックします。

The screenshot shows the 'E-Mail' configuration screen within a settings application. The interface is dark-themed with light blue text and buttons. At the top, there are tabs for '一般設定', '録画設定', 'ネットワーク設定', 'チャンネル設定', and 'システム管理者'. The 'ネットワーク設定' tab is active, and the 'E-Mail' option is selected in the left-hand menu. The main area contains the following settings:

E-Mailの機能	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
SMTPプロバイダ	gmail	<input checked="" type="checkbox"/> その他のパラメータ
送信者		テスト
パスワード		表示
SMTPサーバー	smtp.gmail.com	
ポート	25	
暗号化の種類	None	
受信者1		<input checked="" type="checkbox"/> クイックセフトアップ
受信者2		
タイトル	NVR Report	
インターバル	30	秒
<input checked="" type="checkbox"/> ヘルスメッセージを有効		
ヘルスメッセージ間隔	30	分

At the bottom of the screen, there are four buttons: 'リセット', '適用', '[OK]', and '取り消し'.

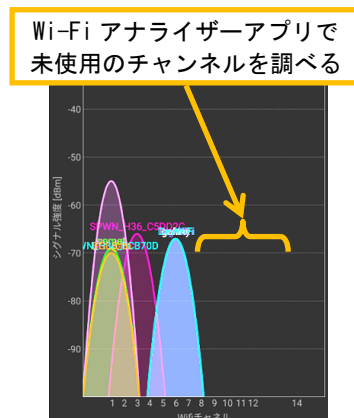
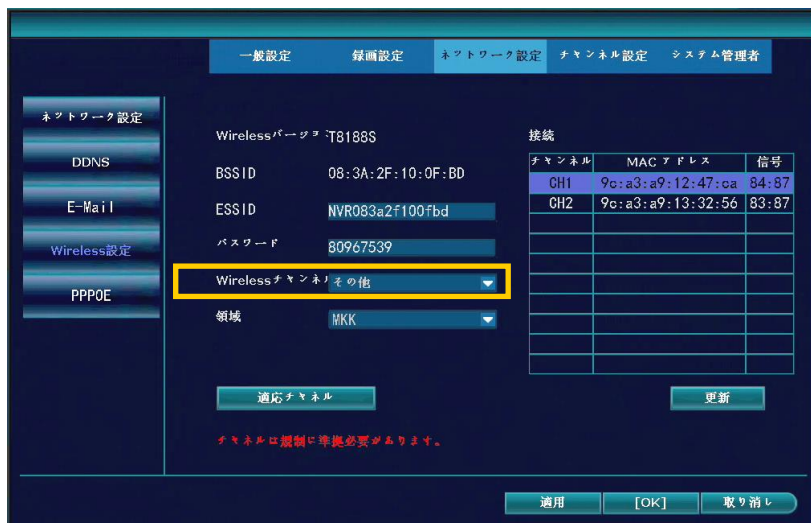
5-3-4. Wireless 設定

この画面の設定は、通常は変更する必要がありません。

周囲に Wi-Fi 機器があり、カメラ映像表示が不安定の場合、「Wireless チャンネル」の設定（チャンネル番号:1~13）を変更することで、改善される場合があります。

Wi-Fi アナライザーアプリで、2.4GHz 帯の Wi-Fi チャンネルの空き状況を確認してください。

ご注意：「Wireless チャンネル」以外の設定は、変更しないでください。



5-3-5. PPPoE

本装置では使用しません。有効にを入れないでください。

(PPPoE 接続を行う場合、設定する機能です。)



5-4. チャンネル設定

5-4-1. エンコード設定

カメラ映像のチャンネル番号を選択すると、カメラのビットレート、解像度、エンコードフォーマット及び画質が確認できます。(解像度以外、変更できません。)

メインストリーム：録画装置で見る／保存される映像画質です

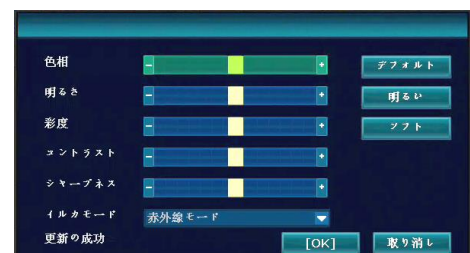
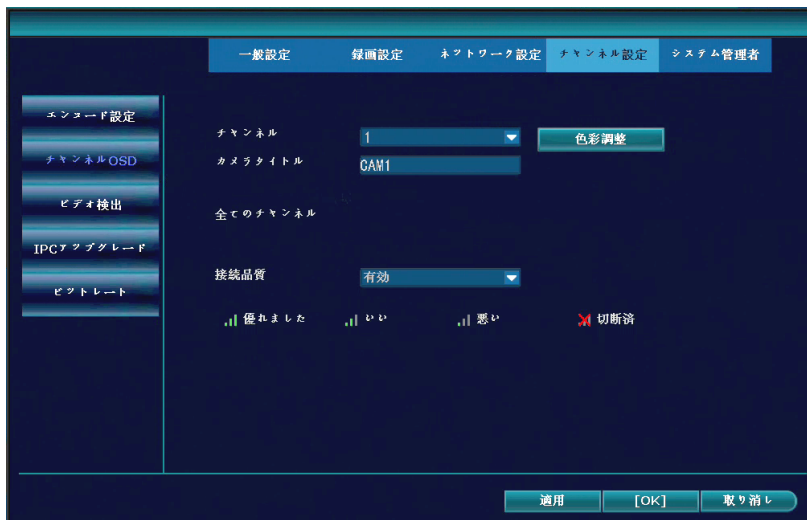
サブストリーム：遠隔(パソコン)で映像を見る場合の映像画質です



5-4-2. チャンネルOSD

各カメラチャンネルのタイトル表示、色彩調整および通信状態の表示設定を行います。

[色彩調整]をクリックすると、映像の明るさ等の設定が可能です。



5-4-3. ビデオ検出

映像に動き（モーション）を検知する設定を行います。設定後、[保存]をクリックします。

この機能は、映像データ（被写体）の変化を検知する機能です。

人または車両が動くと、映像データが変化するため、検知したと判定します。

この機能は、樹木の揺れ、光、影の変化でも検知する場合があります。この場合、感度を選択します。

動体検知による録画をする場合は、下記の設定とスケジュールの設定を合わせて行います。

設定方法：

1. チャンネル番号を選択します。
2. 検出は[モーション]を選択します。
3. 有効に✓を入れます。
4. 感度（5段階：最高～最低）を選択します。
5. アラーム期間（1～10秒、継続）を選択します。
6. [エリア編集]をクリックし、検出するエリアを、マウスをドラッグして設定します。
7. 必要に応じて、[アーミング時間]（検出を有効にする時間帯）を設定します。
8. 設定する通知手段（[ブザー]、[E-Mail通知]のみ使用可能）✓を入れます。
9. 手順1に戻り、他のチャンネルも同様に設定します。
または、[コピー先]をクリックして、設定をコピーすることもできます。
10. 設定後、[OK]をクリックします。



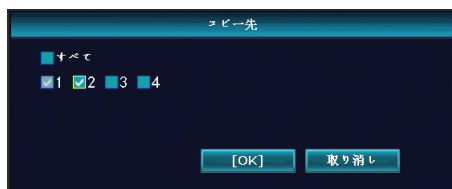
エリア編集画面



[全てのファイル]全エリアを検知する
[全消去] 全エリアを検知しない
[戻る] 編集画面を終了する

一部エリアを指定する場合
[全消去]を選択後、対象エリアをマウス
操作で検知エリアを選択する

コピー先画面



アーミング時間画面



5-4-4. IPCアップグレード

カメラの IP アドレス、及びカメラのソフトウェアのバージョンが確認できます。

The screenshot shows the 'IPCアップグレード' (IPC Upgrade) screen in a dark-themed interface. The top navigation bar includes '一般設定', '録画設定', 'ネットワーク設定', 'チャンネル設定', and 'システム管理者'. The left sidebar has 'エンコード設定', 'チャンネルOSD', 'ビデオ検出', 'IPCアップグレード', and 'ビットレート'. The main area features a table with the following data:

チャンネル	IP アドレス	S/Wバージョン	ステータス	選択
1	172.20.14.210	2.4.13.57002236		<input type="checkbox"/>
2	172.20.14.241	2.4.13.57002236		<input type="checkbox"/>

Below the table, there is a page indicator '< 1 / 1 >', a 'すべて' (All) button, and a 'USBメモリー' dropdown menu. A '開始' (Start) button is present, along with a checkbox for 'デバイスはダウンロードを許可します'. At the bottom, there are '[OK]' and '取り消し' (Cancel) buttons.

5-4-5. ビットレート

現在の通信速度（キロバイト/秒、メガバイト/時）が表示されます。

The screenshot shows the 'ビットレート' (Bitrate) screen. The top navigation bar and left sidebar are identical to the previous screen. The main area displays two tables side-by-side. The left table shows data for channels 1-4:

チャンネル	Kb/s	MB/H
1	2274	647
2	2222	633
3	0	0
4	0	0

The right table shows data for channels 1-4:

チャンネル	スループット
1	---
2	---
3	---
4	---

Below the tables is an '更新' (Refresh) button. At the bottom, a summary line reads '合計: 4496 Kb/s 1280 MB/H'. There are also '適用' (Apply), '[OK]', and '取り消し' (Cancel) buttons.

5-5. システム管理者

5-5-1. バージョン情報

録画装置のバージョン情報が表示されます。



5-5-2. システムログ

録画装置のログ(履歴)を、時間で検索して確認できます。



5-5-3. ユーザー管理

ユーザー管理の設定が行えます。ユーザーの追加、削除、変更や操作権限を設定することができます。

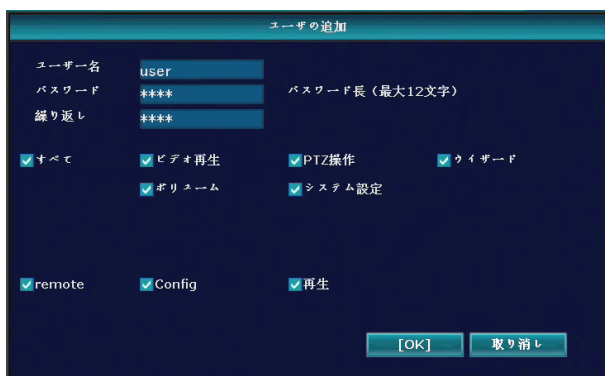
ご注意：パスワードを変更した場合、パスワードを忘れないように必ずメモをしておいてください。

ユーザーの追加方法：

1. [ユーザの追加]をクリックします。
2. ユーザー名、パスワード、繰り返し(パスワード)を入力し、操作を許可する操作に✓を入れて、[OK]をクリックします。

パスワードの変更方法：

1. ユーザーリストから、パスワードを変更するユーザーを選択(青色)します。
2. [パスワード設定]をクリックします。
3. 旧パスワード、新パスワード、繰り返し(新パスワード)を入力し、[OK]をクリックします。



5-5-4. アップグレード

操作しないでください。(録画装置のファームウェアをアップグレードする箇所です。)



5-5-5. メンテナンス

自動で再起動する設定が行えます。

無効、毎日、毎週、毎月の間隔が設定できます。



5-5-6. 工場出荷時設定

- ・工場出荷時の設定に戻す場合、[簡単な復元]をクリックすると、確認画面が表示されます。
[はい]をクリックすると、チャンネル番号、ネットワーク設定、及びユーザー情報を保持して、その他の設定を工場出荷時の状態に戻します。
- ・録画装置の設定（コンフィグレーション）を、インポート／エクスポートすることもできます。

ご注意：工場出荷時設定を実行すると、時刻と画面表示の設定が変更されるため、変更してください。

「5-1-1. 一般設定」を参照して、ディスプレイ解像度を「1024×768」に変更してください。

（HDMI 出力からモニターを接続した場合は、モニター解像度の値に変更）

「5-1-2. 時間設定」を参照して、タイムゾーンを「+09:00」に変更してください。



6. パソコンで映像を確認する

ネットワークに接続した録画装置を、Windows パソコンのウェブブラウザ(Internet Explorer)でライブ映像が確認できる「Network video client」の操作方法について説明します。

ご注意：ウェブブラウザは、Internet Explorer をご使用ください。

Google Chrome 及び Microsoft Edge は使用できません。

6-1. ネットワークの接続

パソコンで映像を確認するためには、ネットワークへの接続が必要です。下記の事項をご確認ください。

◆家庭(会社)内の LAN に接続したパソコンで、録画装置の映像を確認する場合

- ・録画装置に、プライベート IP アドレスを設定します。
- ・ご使用している他の機器と IP アドレスが競合しないように設定します。

◆外部のパソコンから、録画装置の映像を確認する場合


- ・録画装置に、グローバル IP アドレスを設定します。
- ・グローバル IP アドレスの取得については、ご契約のプロバイダ業者に問い合わせてください。

◆IP アドレスの設定

The image shows a sequence of steps to access the network settings. On the left, a mouse cursor clicks on the 'システム設定' (System Settings) option in a menu. On the right, the 'ネットワーク設定' (Network Settings) page is displayed. The 'DHCP' checkbox is unchecked, and the IP address, subnet, and gateway fields are filled with 192.168.1.114, 255.255.1.0, and 192.168.1.1 respectively. The '適用' (Apply) button is highlighted with a red box.

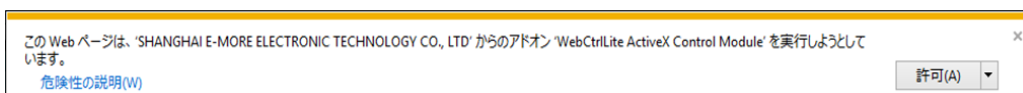
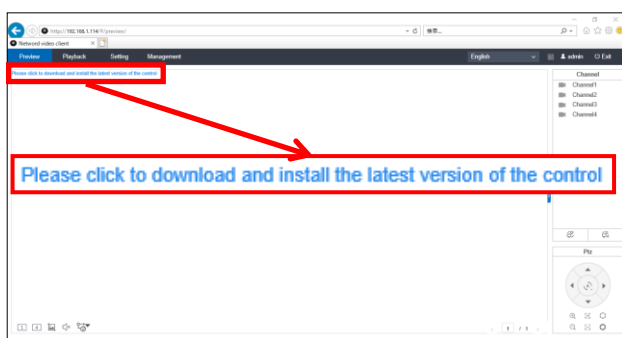
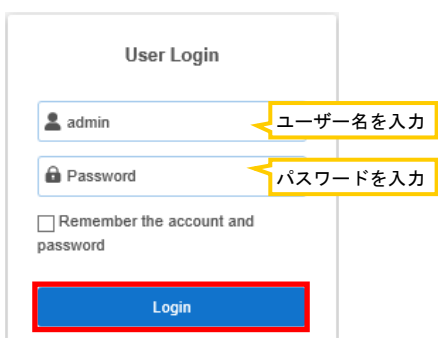
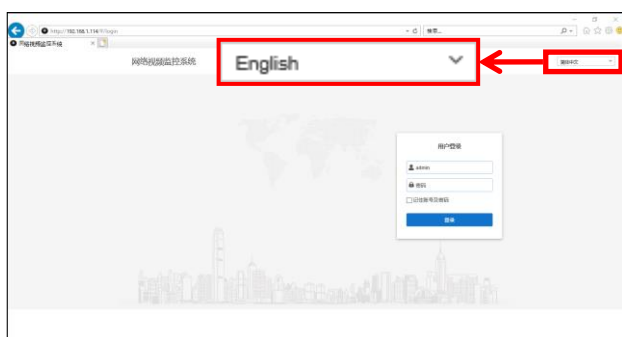
1. ライブ映像から、右クリックして、メニューを表示させ、[システム設定]をクリックします。
2. [ネットワーク設定]→[ネットワーク設定]をクリックします。
3. DHCP の を外し、 (チェック無し)にします。
4. IP アドレス、サブネット、及びゲートウェイを入力します。
5. [OK]をクリックします。

◆信頼済みサイトへの登録

Internet Explorer で、録画装置の IP アドレスを、信頼済みサイトとして登録する必要があります。画面右上側の  アイコン⇒[インターネットオプション]⇒[セキュリティ]⇒[信頼済みサイト]画面⇒[サイト]をクリックし、録画装置に登録する IP アドレスを追加します。

6-2. Network video clientの起動方法

ウェブブラウザは、Internet Explorer をご使用ください。



6. 画面下側に、「この Web ページは、………のアドオン “WebCtrlLite ActiveX Control Module” を実行しようとしています。」と表示された場合、[許可]をクリックします。

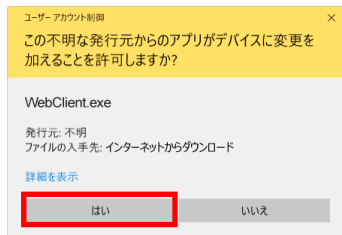
1. Internet Explorer を起動します。
2. アドレスバーに、録画装置の IP アドレスを入力します。
録画装置の IP アドレスは、マウスを右クリックし、メニューから、[システム設定]→[ネットワーク設定]→[ネットワーク設定]の画面内で確認できます。
3. Network video client の画面が表示されます。起動時は、中国語表示です。右上側のドロップダウンリストで、[English]を選択します。
メモ：日本語表示はできません。
4. 録画装置で設定されている「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、[Login]をクリックします。
工場出荷時は、ユーザー名が「admin」、パスワードは「設定されていないため、空欄のまま」で、ログインします。
5. 始めてログインした場合、映像が表示されません。プラグインのインストールが必要です。「Please click to download and install the latest version of the control.」をクリックします。
2回目以降にログインした場合、カメラ映像が表示されます。



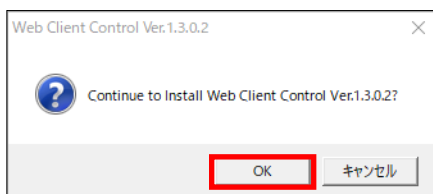
7. 画面下側に、「XXX. XXX. XXX. XXX から WebClient を実行または保存しますか?」と表示されます。
[実行]をクリックします。



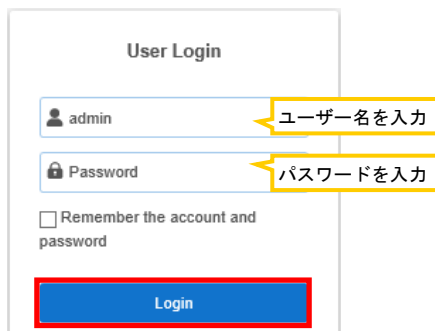
8. 画面下側に、「WebClient.exe の発行元を確認できませんでした。このプログラムを実行しますか?」と表示された場合、[実行]をクリックします。



9. ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックします。

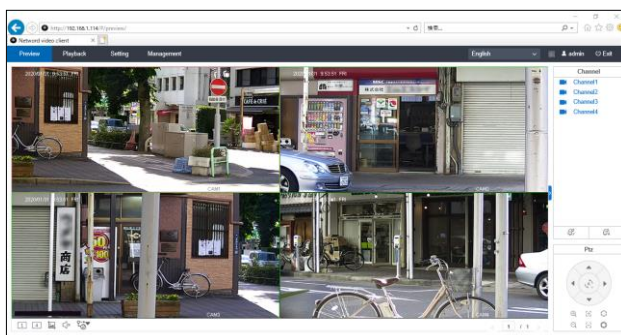


10. Web Client Control 画面が表示されます。
[OK]をクリックします。
インストールを実行します。



11. インストールが終わったら、一旦 Internet Explorer を閉じます。

12. もう一度、Internet Explorer を起動して、ログインします。(手順 1 から 4 の操作を参照)



13. プレビュー画面が表示されます。

6-3. Network video clientの画面

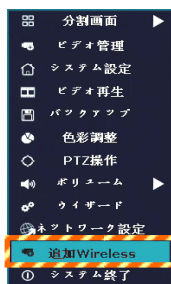
メモ: Network video client は、英語で表示されます。日本語に変更できません。ご了承ください。



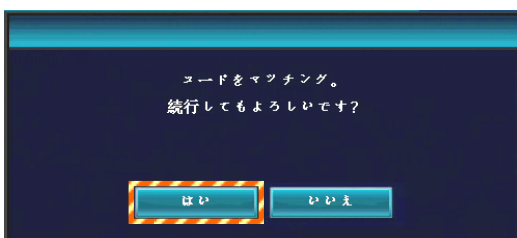
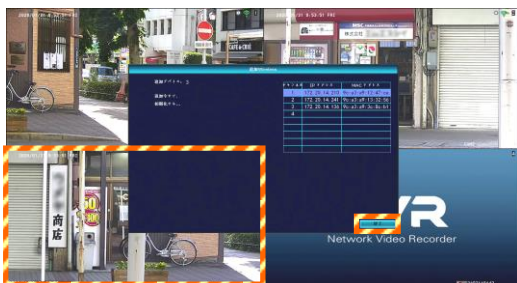
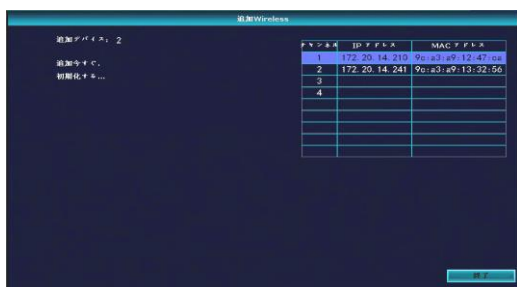
- | |
|--|
| ① 録画装置に設定した IP アドレスを入力します。 |
| ② この画面の表示言語 (英語/中国語) を切り替えます。 |
| ③ 現在ログインしているユーザー名を表示します。 |
| ④ ログアウトします。 |
| ⑤ Preview 画面 (上図の画面) に切り替えます。カメラのライブ映像が表示されます。 |
| ⑥ 本装置では使用しません。Playback 画面 (再生) に切り替えます。 |
| ⑦ 本装置では使用しません。Setting 画面 (設定) に切り替えます。 |
| ⑧ 本装置では使用しません。Management 画面 (カメラ登録) に切り替えます。 |
| ⑨ 各チャンネルの映像を、表示/非表示に切り替えます。 |
| ⑩ 全チャンネルの映像を表示します。 |
| ⑪ 全チャンネルの映像を非表示します。 |
| ⑫ 表示画面数を切り替えます。(1画面と4画面) |
| ⑬ ①:主映像(高速回線用)、②:副映像(モバイル回線用)を切り替えます。 |
| ⑭ ページ数を表示します。複数ページの画面がある場合、[<]/[>]をクリックして切り替えます。 |
| ⑮ 通常は使用しません。(PTZカメラを接続した場合、カメラの操作ができます。) |

7. IPカメラを追加する場合

本装置の構成品として IP カメラが 2 台用意されていますが、2 台まで追加することができます。録画装置は、最大 4 台の IP カメラの映像を録画することができます。IP カメラを追加で購入した場合、以下のように 1 台ずつ録画装置に登録する作業を行います。



1. 追加のカメラに、電源アダプタを接続し、電源を入れます。まだ、設置をしないでください。
2. カメラの LAN 端子と録画装置の LAN 端子を、LAN ケーブルを用意して接続します。
3. 録画装置の電源アダプタを接続して、録画装置の電源を入れます。
4. ライブ映像画面で、マウスを右クリックし、メニューを表示させ、[追加 Wireless]をクリックします。
メニューを操作するときには、ログイン操作が必要です。
5. 「追加 Wireless」画面が表示されます。
録画装置が追加したカメラを自動で検索し、登録を行います。
6. 1 分程度経つと、カメラが登録され、背景に追加されたカメラの映像が表示されます。
7. [終了]をクリックします。
8. 「コードをマッチング。」と表示されます。
[はい]をクリックします。
9. カメラの電源を切り、LAN ケーブルを外します。
10. カメラを設置します。設置方法は、「2. 設置方法」または「設置マニュアル」を参照。



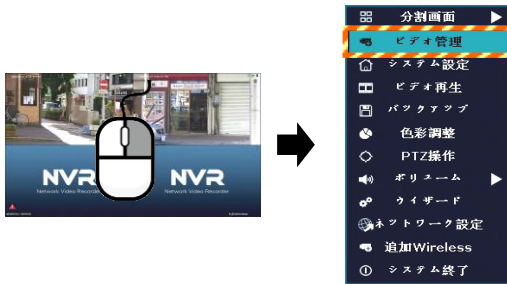
8. トラブルシューティング

以下に、問題点が発生した場合の確認ポイントを記載します。

状態によっては、本装置の再起動、電源のオフ／オンなどで改善する場合があります。

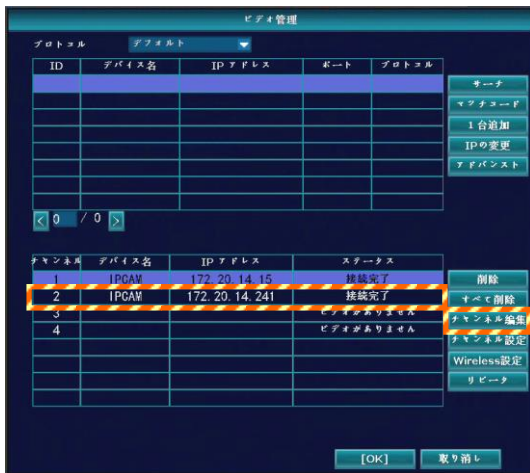
症 状	確認ポイント
モニターが写らない	<ul style="list-style-type: none"> 録画装置に録画装置用電源アダプタ (12V/3A) が接続されているか 録画装置のモニター電源ボタンを押したか
ライブ映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> カメラにカメラ用電源アダプタ (12V/1A) が接続されているか カメラにアンテナが接続されているか カメラと録画装置間が離れすぎているか カメラと録画装置間に障害物がないか(鉄筋の壁や金属製の扉等)
スケジュール録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> [メニュー]→[システム設定]→[録画設定]の画面で、スケジュール録画が正しく設定されているか (チャンネル、曜日、時間帯(赤色のマス)を確認)
モーション(動体検知)録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> [メニュー]→[システム設定]→[録画設定]の画面で、スケジュール録画が正しく設定されているか (チャンネル、曜日、時間帯(緑色のマス)を確認) [メニュー]→[システム設定]→[チャンネル設定]→[ビデオ検出]の画面で、モーションが正しく設定されているか (チャンネル、検出(モーション)、有効に<input checked="" type="checkbox"/>、感度、アラーム期間、エリア編集が適正か確認)
アラーム音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> エラー発生時に鳴らす設定の場合、 [メニュー]→[一般設定]→[セットアップエラー]の画面で、ブザーに<input checked="" type="checkbox"/>が入っているか モーション検知時に鳴らす設定の場合、 [メニュー]→[システム設定]→[チャンネル設定]→[ビデオ検出]の画面で、ブザーに<input checked="" type="checkbox"/>が入っているか
パソコンからライブ映像が監視できない	<ul style="list-style-type: none"> 使用するブラウザは、Internet Explorer であるか Internet Explorer の設定で、監視する録画装置の IP アドレスが、「信頼済みサイトへの登録」に登録されているか ネットワークの接続および設定が正しいか [メニュー]→[システム設定]→[ネットワーク設定]→[ネットワーク設定]を画面で IP アドレス等を設定します 外部のパソコンからライブ映像を見る場合、グローバル IP アドレスが設定されているか ログインユーザー名およびパスワードが正しいか
時刻がズレている	<ul style="list-style-type: none"> [メニュー]→[システム設定]→[基本設定]→[時間設定]の画面で、システム時間を変更し、[適用]をクリックします
カメラの映像が上下逆さまになっている	<ul style="list-style-type: none"> カメラを六角レンチで緩めてカメラを回転させます 「ビデオの管理」画面でカメラ映像を反転させます(次ページ参照)

■ カメラ映像を反転させる方法



1. 上下逆さまの場合、次の方法で映像を反転させます。

2. マウスを右クリックし、メニューを表示させ、[ビデオの管理]をクリックします。
メニューを操作するときには、ログイン操作が必要です。
「ビデオの管理」画面が表示されます。



3. 反転させたいカメラチャンネル選択し、[チャンネル編集]をクリックします。
「IPチャンネルのparam」画面が表示されます。



4. [画面のロールオーバー]をクリックしてから、[OK]をクリックします。

5. ビデオ管理画面の[OK]をクリックします。



6. カメラの映像が反転します。

9. 仕様

本書に記載されている仕様または機能は、技術改善などにより予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

モニター付レコーダー（録画装置）

オペレーティングシステム	組込み Linux OS
ネットワークビデオ	4ch
ビデオ解像度	1440×900、1920×1080p
同期再生	4ch
録画モード	手動、時間指定、動き、アラーム
再生モード	手動、時間指定、イベント
バックアップ	USB メモリ対応 (FAT32 形式)
ハードディスクタイプ	SATA インターフェース×1
ハードディスク容量	500GB
ネットワークインターフェース	RJ45 (10M/100M)×1、Wi-Fi×1
USB インターフェース	USB2.0×2
電源	DC12V 3A
消費電力	≤11.7W (HDD を含む)
動作温度/湿度	-10°C~50°C / 30%~80%
保存温度/湿度	-20°C~60°C / 20%~90%
サイズ(突起物を除く)	モニターを閉じた時：約 280mm(W) × 約 228mm(V) × 約 64mm(H) モニターを開けた時：約 280mm(W) × 約 228mm(V) × 約 250mm(H)
重量	約 1.6kg (HDD を含む)
連続録画時間	約 20 日間 (カメラ 2 台の場合)

ワイヤレスカメラ（IPカメラ）／オプションカメラ

センサー	1/4 インチ・プログレッシブスキャンセンサー
S/N 比	>39.1dB
解像度	1920×1080、16 : 9
ホワイトバランス	自動
デイ&ナイト	自動、カラー、白黒
保護等級	IP66 相当
電源	DC12V 1A
消費電力	≤6W
動作温度/湿度	-10°C~50°C / 30%~80%
保存温度/湿度	-20°C~60°C / 20%~90%
寸法	約 65mm(D) × 約 178mm(W) × 約 67mm(H) (アンテナを除く)
重量	約 400g

オプションPTZカメラ

センサー	SC2235 CMOS
有効解像度	1080p (1920×1080)
シャッター	1/25 秒~1/100000 秒
最低被写体照度	カラー：0.1Lux (F2.0 AGC)、IR 点灯時：0Lux
画質調整	露出モード (自動/手動)、シャープネス、彩度、明るさとコントラスト調整可能、AWB、AGC 調整可能
解像度	50Hz : 25fps (1920×1080)、60Hz : 30fps (1920×1080)
ビットレート	128kbps~8Mbps
保護等級	IP66 相当
ズーム	4 倍
IR 距離	15~30m
パン回転範囲/パン速度	0~180 度 / 0.1~20 度/s
チルト回転範囲/チルト速度	0~50 度 / 0.1~20 度/s
電源	DC12V 1A
消費電力	約 6W (パン・チルト動作時)
動作温度/湿度	-30°C~60°C / 10%~90%
寸法	約 86mm(W) × 約 170mm(D) × 約 87mm(H) (縦、横、高さ、アンテナを除く)
重量	約 350g

お問合せ先

本製品についてのお問い合わせは、販売店もしくは弊社までお願いいたします。

株式会社 **レッツ** コーポレーション

■カスタマーサービス

受付時間：9：30～18：00（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル

TEL：052-209-7860 FAX：052-201-5050

URL：<http://www.lets-co.jp/lets/>

■本社

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目6-10 レッツ丸の内本社1号館ビル

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル

TEL：052-201-6230 FAX：052-201-5050

■東京営業所

〒104-0061

東京都中央区銀座八丁目19-3 銀座竹葉亭ビル6F

TEL：03-3546-0889 FAX：03-3546-0941

■大阪営業所

〒532-0003

大阪府大阪市淀川区宮原1-2-9 新大阪ハイロードビル5F

TEL：06-6151-5749